

平成 29 年度 善通寺市まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録	
日 時	平成 29 年 6 月 29 日（木曜日）10 時 00 分～11 時 30 分
会 場	善通寺市役所 3 階大会議室
出 席 者	速水会長、村上副会長、香川委員、新田委員、津島委員、菅委員、渡邊委員、山内委員、高口委員、山田委員、齊藤委員、秋山委員、（欠席：中川委員）
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 善通寺市まち・ひと・しごと創生推進会議 次第</li> <li>・資料 1 地域活性化・地域住民生活等緊急支援（地方創生先行型）活用事業実績評価表</li> <li>・資料 2 地方創生加速化交付金活用事業 実績評価表</li> <li>・資料 3 善通寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～平成 29 年度改訂版案（抜粋）～</li> </ul>
会 議 の 概 要	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p style="padding-left: 2em;">＜総務部長より 挨拶＞</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より 北川委員から交代した新田委員を紹介＞</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より 議事内容についての説明＞</p> <p>3 議 事</p> <p style="padding-left: 2em;">＜会長より 挨拶＞</p> <p>(1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援（地方創生先行型）活用事業の効果検証について</p> <p style="padding-left: 4em;">＜事務局による事業説明＞</p> <p>(議長) この事業について意見等はあるか。</p> <p>(委員) 先日の新聞記事で、県外からの移住者数についての市町別の数字が掲載されていたが、本市の平成 27 年度の数字だけが空欄となっていた。その理由は？</p> <p>(事務局) 四国新聞の記事で、本市は平成 28 年度の数字のみ掲載されていたことは承知している。本市では平成 28 年度からアンケートによる「移住者数」把握を開始したので、平成 27 年度の数字は空欄となっている。</p> <p style="padding-left: 2em;">そもそも、「移住者数」の把握についてはどの自治体も苦慮しているところであり、新聞記事の各市町の「移住者数」については、そ</p>

	<p>それぞれの住民票担当部署がアンケート用紙を配布し、任意で回答いただいた結果を基に集計し県がとりまとめた数字である。</p> <p>各市町共、あくまで任意の回答を基に集計しているため、各市町の移住者数を完全に捕捉した数字ではない。また、市町によって集計の仕方が異なる場合もある。よって、県主催の主管課長会議の席上において、各市町側が、県に対して、この完全に捕捉していない「移住者数」が一人歩きする可能性があるため、市町別の個別具体的な数字は外部に出さないよう強く要請したが、結果的に数字が公表されてしまった。</p> <p>(委員) 県外から本市への移住希望者にとって、移住することによって何らかの特典やメリットはあるのか？</p> <p>(事務局) 民間金融機関の住宅ローンの貸付を受けた場合、その支払利子額の一部を補給する「住宅建設資金等融資利子補給制度」や空き店舗等を利用して事業を行う方及び空き店舗等を賃借する方に対して補助を行う「空き店舗等活用事業者等支援事業」の他、平成 28 年度から新たに、本市への県外移住世帯を対象に民間賃貸住宅の賃借に要する費用の一部を補助する「善通寺市移住促進家賃等補助金制度」を開始した。</p> <p>(議長) 番号 6 の香川県と連携して実施した「中讃地区移住体験ツアー」について詳細の説明を。</p> <p>(事務局) 当該体験ツアーは、香川県への移住を検討している方を対象に、香川県の魅力を実感してもらうために実施した。善通寺市では子育て世代の参加者が関心を持っている中川委員の四国こどもとおとなの医療センターの見学を中心に赤レンガ倉庫や旧善通寺偕行社を巡った。参加者は 10 組 13 名、女性 9 名男性 4 名、首都圏 4 組関西圏 6 組であった。医療センターの見学は参加者から好評であったとのことであった。</p> <p>(委員) 番号 4 の観光 PR アプリに関連して、市内には約 400 基の古墳が存在するが、市として何らかの PR はしているのか。</p> <p>(事務局) 教育委員会の HP 等で有岡古墳群など紹介している。</p> <p>(委員) 番号 3 の地域資源を活用した農商工観連携地域経済活性化事業について、H28 年度取組状況の項において、「足湯整備やポケットパークの整備の事業効果によって中心市街地の観光入込客の大幅な増加となった」との記述がある。この場合、足湯整備等が観光客の大幅増加の主因と読み取れてしまうが、実際の増加の主因は先程の事務局の説明でもあった様に瀬戸内国際芸術祭の来場客の流入が大きいのでは。</p>
--	--

	<p>(事務局) 先程口頭で説明したとおり、中心市街地の観光入込客の主な要因は、昨年開催された瀬戸内国際芸術祭の来場者が本市へ流入したことであると考えられる。委員ご指摘のとおり、資料 1 では瀬戸内国際芸術祭に関する記述がないので H28 年度取組状況の説明箇所を変更する。</p> <p>(委員) 番号 3 の地域資源を活用した農商工観連携地域経済活性化事業について、足湯整備等で観光交流センターの来館者が増加したことは、成果が出て良かったと思う。但し、本事業のように市内中心部への施設等の整備が多い反面、周辺部への投資は少ないように見受けられる。今回の足湯でも、例えば五ヶ寺巡りの遍路道の途中などに整備したら、遍路客の休息の場にもなって、たいへん喜ばれると思う。</p> <p>(事務局) 中心市街地活性化事業の流れで施設整備したものが多く、どうしても市内中心部に固まっているのは事実である。その中で、商工観光課では、資料 1 にあるように周辺部を含めた市内全域を対象とした新規の観光ルートの構築・推進を行っている。委員ご指摘のような遍路道の整備なども総合的に検討していきたい。</p> <p>(2) 地方創生加速化交付金活用事業の効果検証について</p> <p>&lt;事務局による事業説明&gt;</p> <p>(議長) この事業について意見等はあるか。</p> <p>(委員) ダイシモチ麦については、テレビや新聞等で目にする機会が多い。今後もメディアを上手に活用して宣伝などをして欲しい。</p> <p>(委員) まんでがんの代表者の立場として、ダイシモチ麦が一定の評価を得ていることはありがたい。また、この交付金によって当該事業が推進できているので、この場を借りて当該事業の進捗状況を報告する。</p> <p>ダイシモチについては、昨年度テレビ等で紹介されたこともあり、大幅に売上げが伸びた。これに伴って、今年度新たに正規職員 1 名採用し、パート職員の待遇改善も実施することができた。このような動きによって雇用者が増加したので、本総合戦略の「しごとをつくり、安心して働けるようにする」という基本目標 1 に少なからず貢献したと感じる。</p> <p>交付金によってインターネットでの販売システムも導入でき、H27 から拡充した本市のふるさと納税での取扱いも順調に伸びており、</p>
--	---

	<p>販売体制強化及び安定した販路開拓が進んでいる状況である。</p> <p>(委員) H28はこの地方創生加速化交付金事業を実施しているが、H29は何らかの補助事業を実施しているのか。</p> <p>(事務局) 昨年11月にH29当初予算計上を想定した国の補助事業である「地方創生拠点整備交付金事業」の内閣府事前審査を行った。この事業は、H28で実施したH28地方創生加速化交付金事業の継続事業として営業課及び商工観光課が計画したものであり、主な事業内容は、まんでの拠点である「おしゃべり広場」の新規商品開発及び販売拡大機能の強化を図るため、施設の改修等を実施するものであった。しかし、内閣府地方創生推進事務局参事官による事前審査の結果、当該事業の補助採択は難しいとの判断が下されたため、H29当初予算における補助申請は見送る形となった。現在は、国の採択基準の変更などの動向を注視しながら、H29補正に向けて検討している状況である。</p> <p>(議長) ダイシモチ麦について、機能性表示食品として機能等を表示することは可能であるか。</p> <p>(委員) ダイシモチについては、かねてより、食物繊維が多く含まれていることなどから健康維持増進に役立つ機能について表示できるのではないかと期待されている。公的機関等によって生物学的根拠が実証されれば表示可能であるので、H28から公的機関等に様々な成分分析を調査依頼している。実験結果から有用な効能が得られたら表示の本格実施に向け検討したい。</p> <p>(3) 善通寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成29年度改訂について</p> <p>&lt;事務局による事業説明&gt;</p> <p>(議長) 事務局より説明のあった改訂案について意見等はあるか。</p> <p>(委員) 基本目標2の指標である「社会増減数」について、新聞等の報道で自衛隊善通寺駐屯地の拡充の話を耳にしたので、増員などの計画に合わせてH31の目標値などの変更も検討したらどうか。</p> <p>(事務局) 防衛省から、H29において善通寺駐屯地の改編が実施され、隊員の定員が約280名程度増えるとの発表があった。増員となる隊員の方全てが市内に住むとは限らないが、ある程度の転入者数の増加が期待できる。</p> <p>(委員) 事務局の説明を補足する。説明のとおり今年度に駐屯地の改編が</p>
--	---

	<p>行われ、隊員の増加が見込まれる。また、家族で転入される隊員も多くいるので、実際の転入者数がどのくらいになるかは、明確に答えることはできない。</p> <p>(議長) 目標値はあくまで H31 の数値なので、ある程度転入者の数が固まった段階で見直しを検討した方がよいのでは。よって、今年度の改訂版においては、目標値の見直しは行わないこととする。</p> <p>(委員) 同じく、基本目標 2 の「移住・定住の促進」に関連して。 最近では定年後のセカンドライフとしての移住のみならず、現役世代の方の移住希望者が増えてきているとのことなので、丸亀公共職業安定所も、都市圏での移住フェアに参加して県外からの移住定住の促進の協力をしている。事務局の説明にもあった東京での移住相談会についても、共同で参加する予定である。</p> <p>(委員) 総務省統計局が発表している「平成 26 年全国消費実態調査」によると、香川県は、世帯貯蓄現在高が全国 6 位で貯金が多く、逆に、世帯負債現在高は全国 45 位で借金が少ない。貯蓄高の 1・2 位の東京都・神奈川県は負債高でも 1・2 位なので、貯蓄から負債を引いた実際の世帯資産は香川県が全国 1 位である。昔から香川県人は貯金好きであるとの話を聞いたことがあるが、実際に国のデータからそのことが証明された結果だ。香川県人が元来堅実であるということも言われているが、違う見方として「香川県に住むと資産が増えやすい」という側面もあるのでは。細かい分析等も色々なされていると思うが、こういった点が移住促進の一つの切り口となればと思い、関連資料を事務局に提出する。</p> <p>(議長) 他に何かあるか。</p> <p>&lt;特になし&gt;</p> <p>(議長) それでは、予定している議事は以上となるので、本会議を終了する。</p> <p>4 その他 本会議においてご審議いただいた「H28 地方創生加速化交付金」の効果検証結果については、会議での意見等も加えて事業実施結果報告として取りまとめ、県を通じて内閣府地方創生推進事務局へ提出する予定である。 また、「善通寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成 29 年度改訂案</p>
--	---

については、会議での意見等を反映して正式に「平成 29 年度改訂版」として作成し、委員各位に送付する。

5 閉 会

以上